

社会福祉法人塩釜市社会福祉協議会  
平成 29 年度 第 1 回 高齢者通所介護施設となりの家 運営推進会議  
議事録

1. 日 時 平成 29 年 6 月 13 日 (火曜日)  
開会 午後 2 時 32 分～ 閉会 午後 2 時 55 分

2. 場 所 特別養護老人ホームこころの樹

3. 出席者 鈴木 さつよ (利用者家族代表)  
佐藤 稲子 (地域住民の代表者)  
田中 京子 (包括支援センター)  
鈴木 智之 (市役所職員)  
※委員総数 5 名中 4 名出席

高齢者通所介護施設となりの家  
武田理恵所長

社会福祉協議会  
山本次長 曾根課長

欠席者

1. 開 会

2. あいさつ 山本次長

3. 議 事 (要旨)

○認知症の普及について

○となりの家の役割 (武田所長)

(となりの家パンフレットを説明した)

- ・ 新たに追加で作成したパンフレット。
- ・ 認知症の施設は「ドアを閉めてカギをかけて閉じ込めている」「虐待をしている」というイメージを持たれている方が少なくない。立て続けにそのような話を聞き、パンフレットを作ることにした。
- ・ 現状は一般型デイを認知症の方が利用している。一般型デイに通っても手厚いケアは受けられないはず。ケアマネジャーの意識が低い。
- ・ 塩竈市事業者連絡会があり、となりの家のプレゼンを行った。同じ認知症デイの小松崎あさひ園も行った。
- ・ 認知症は 1 人 1 人症状が違うので対応が難しい。家族も同様に家を出すまでも一苦勞であり、このような施設を利用するだけでも勇気がある。家族も施設への理解が必要。
- ・ 認知症になると自分がどうしていいのかわからなくなる。その方にどのように関わればいいのか、個々に対応を変えながら接している。
- ・ 最近、利用者の認知症症状が進んでおり、対応時間が長くなっている。
- ・ 利用者が穏やかに過ごせるよう環境づくりに努めている。動き出したら止めず、一緒に外出するようにしている。
- ・ 能力に差があるので一緒に行うレクリエーションはなるべく避けている。出来るところをやって自信を持ってもらいたい。

(武田所長)

その後、小松崎あさひ園デイの状況はどうか？

(鈴木運営推進委員)

利用者がなかなか集まらなると聞いていた。それなので「市の事業者連絡会で認知症デイの説明をしては？」と助言した。認知症の方でも一般デイに行ってしまうと、どう認知症デイに呼び込むかが課題と思っている。

(武田所長)

一般デイに通い馴染んでいる方の移行は難しい。となりの家は多くが新規利用スタートだ。

(武田所長)

鈴木委員のご主人はとなりの家をどう思っているか？

(鈴木運営推進委員)

本人は利用日になると朝早くから起きて楽しみにしているようである。家ではあまりしゃべらないし、困らせることもない。

(武田所長)

職員に対して思うことはあるか？

(鈴木運営推進委員)

いつも優しくしてもらい、本人も誰が来ても「はいはい」と喜んで接している。朝から身支度もしっかりやっている。

(武田所長)

一般デイより職員配置が手厚く、1人にかけてられる時間が多いのでトラブルも未然に防げる。利用者同士のコミュニケーションも職員が手伝っている。これから梅雨に入るが、気分転換のドライブや室内でできる簡単なことを実施したい。

(田中運営推進委員)

認知症対応型デイは、一般デイのように「これを一斉にしよう」というのではない。職員体制が密で個々に合わせて対応してもらえるので、良いと思う。そのようなメリットをさまざまな方に周知するのが望ましい。他のデイに行って一日座って過ごすのではなく、職員と接する時間とか外に出る時間とか多いと感じている。もっと良い施設であることをアピールしたいが、利用料が高いのが難点。限度額をオーバーしたり、自己負担額が高くなったりする。「それならば一般型で」となってしまいう面がある。

(武田所長)

おかげさまで水金のみ空きがある状態。他の日は定員 12 名一杯である。

(佐藤運営推進委員)

介護認定を受けている方の何割くらいが認知症なのだろうか？

(鈴木運営推進委員)

認知症と言っても症状が様々。その度合いについては主治医や認定調査員の判断による。一概に何割という言い方は難しい。

(佐藤運営推進委員)

自分の周りにどれくらい認知症の方がいるのか分からない。

(武田所長)

一見しただけでは分からない。話をしても昔の記憶はそのままで、最近だと曖昧。昔話をしたのでは分からない。

(佐藤運営推進委員)

普通の「ボケ」とは違うのか？

(武田所長)

年相応のものとは違う。話をしているうちに「あれ？」と感じる。症状に差が大きく、何秒前のことも覚えられない場合もある。一方で、職員の感情は的確に読み取るので、いつも穏やかにしてはならない。

(曾根課長)

こころの樹の避難訓練に参加したとのことだが、スムーズに避難できたか？

(武田所長)

5名を参加させたが、気持ちが高ぶり、避難するに至るまでが大変だった。訓練と伝えても1～2名が動いてくれなかった。本番をイメージして無理矢理連れて行った。ちょっとした変化も認知症の方にとっては大きなストレス。人数が多くなればどうなるか分からない。訓練とは言え難しかった。毎月となりの家として、火災や津波の避難訓練はしている。

#### 4. 事務連絡

次回は12月頃（日程が決まり次第、通知）

#### 5. 閉会